

機械器具74 医薬品注入器

一般医療機器 輸液用連結管 70399000

JMS 連結管

(DEHPフリー)

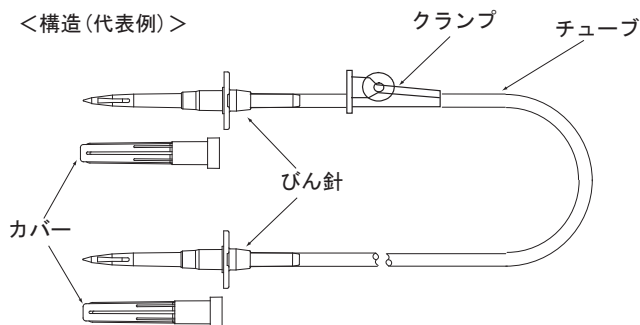
再使用禁止

【禁忌・禁止】

- 再使用禁止

【形状、構造及び原理等】

<構造(代表例)>



- ・本品はポリ塩化ビニル(可塑剤: トリメリット酸トリ(2-エチルヘキシル))を使用している。
- ・上記構成と当該製品の構成が異なる場合がある。

【使用目的、効能又は効果】

チューブの両端に薬液瓶又は他の器具との接続部をもつ連結管をいう。
輸液で薬液瓶内の液を移すために用いる。

【品目仕様等】

1. 気密性

先端を閉じた状態で、20℃～30℃の水の中に入れ、50kPaで15秒間空気を送り込んだとき、空気漏れがない。

2. 接続強度

接続部を15N以上の力で15秒間以上引っ張ったとき、緩まない。

【操作方法又は使用方法等】

1. 包装から本品を取り出します。
2. クランプが付いている連結管の場合は、クランプを閉じます。
3. いずれか一つの輸液容器に輸液セットを取り付けます。
4. 輸液容器の所定の位置にびん針を垂直に刺通し、輸液セットを取り付けた輸液容器から順次連結します。
5. ガートルスタンドのハンガーに、輸液容器を同じ高さになるようにつるし、最後の輸液容器の所定の位置にエア針を垂直に刺します。

使用方法に関連する使用上の注意

- 本品は輸液容器のゴム栓に対し、斜めに刺通したり、刺通中に横方向への力を加えないこと。[びん針の曲がり、破損が生じる可能性がある。]
- 本品の段差部分まで輸液容器に刺通すること。[刺通が不十分な場合、使用中の抜け、チューブ内へのエア混入等の可能性がある。]
- 鉗子又はクランプをチューブ接合部分(硬質部品)に移動し、クランプ操作をしないこと。[チューブが破損する、又は接合部分が外れる可能性がある。]
- チューブが折り曲げられたり、引っ張られた状態で使用しないこと。[チューブ接合部分の破損、外れが生じる可能性がある。]

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 包装を開封したらすぐに使用すること。
 - 包装が破損、汚損している場合や、製品に破損、変形等の異常が認められる場合は使用しないこと。
 - 開封時及び使用中にすべての接合部について、外れや緩みが無いことを確認すること。
 - 個包装を開封する際は、はさみ等の刃物を使用しないこと。[本品を傷つけ、液漏れが生じる可能性がある。]
 - 本品は輸液用の連結管であり、輸血製剤等の輸血用として使用しないこと。
 - 血液バッグには使用しないこと。
 - 鉗子等でチューブをクランプする場合、液漏れが生じる可能性があるため、チューブを傷つけないように注意すること。
 - チューブの接合部を曲げたり、チューブを過度に引っ張ったり、押し込むような負荷がかからないようにすること。[接合部の外れ及び液漏れ、チューブの破損等が生じる可能性がある。]
 - ひび割れが確認された場合は、ただちに新しい製品と交換すること。
 - ソフトバッグでの輸注に使用しないこと。[バッグ内の空気が移行する可能性がある。]
 - 医薬品の添付文書を確認後、使用すること。
2. その他の注意
- びん針の針部には直接手を触れないこと。
 - 誤穿刺に注意すること。
 - 使用後は感染防止に配慮して安全な方法で処分すること。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 貯蔵・保管方法

- 水ぬれに注意し、高温、多湿、直射日光を避けて保管すること。

2. 使用期限

- 箱の使用期限欄を参照すること。[自己認証(当社データ)により設定]

【包装】

25本/箱、120本/箱

(箱の入数表示を参照)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売元及び製造元
株式会社ジェイ・エム・エス
広島市中区加古町12番17号
郵便番号: 730-8652
電話番号: 082-243-5806